

2020年度3月25日 理事会議事録

1 日時：2021年3月25日（木）19:00～21:25

2 場所：ウェブ開催のため各自宅・職場

3 参加理事：錠内・野々垣・木村・金山・吉本・佐々木・奥原・神保・遠藤・神田・
佐藤範・戸塚・澤口・佐藤良・西川・大郷（16名）

欠席理事：野本・玖島（2名）

参加監事：田中（1名）

欠席監事：鶴見（1名）

4 議事録署名人：錠内会長、遠藤理事、田中監事

5 審議事項

(1) 議長について

会議を前に、佐藤良理事より定款第 51 条に「理事会の議長は、会長がこれに当たる」と書いてあるのになぜ木村副会長が議長をしているのかと質問がある。

1-1) 質疑応答

金山：今年度の始めの理事会で会長より今年度の体制について議長の役割を副会長に依頼すると話があったことを報告（ただし、議事録には記載なし）。

澤口：（上記の発言について）そんな記憶があるが認識が全員ととれていなかったのではないかと。司会を会長が行わない理由を説明してはどうか。

神保：進行は誰が行ってもよいと思う。ただし、最後は議長が判断することがポイントではないか。

神田：規約上は議長の役割について書かれていない。

吉本：過去も司会進行を事務局長が担っていたので特に違和感はなかった。

奥原：一般的には議長が進行を担うことが多いのでは。

澤口：議長と進行の違いは、議長は審議で同数意見だった場合最後に決める人のことである。

錠内：最後の決定権は会長になるだろうと思って今期行ってきた。司会進行を行うのは誰でもよいのではないかという意見。

⇒今年度副会長が司会進行を行う方法で行ってきたが、認識が十分ではなかったため、今回は会長が司会進行を担う。

(2) 事務局

1-1) 重点課題

1-1-1) 2021年度総会開催について

3月21日の緊急事態宣言解除を受け、3月22日に会場の予定である労働プラザの予約を試みたが、希望時間はすでに使用できなかった。他の施設もすべて17時以降でないとは総会が行える人数の会場は空いていなかった。

規約委員会からは、開催場所は確保する必要があるが、双方向性、即時性が担保できれば、オンラインにおいても出席とすることが可能だという意見をもらっており、会場出席とオンラインの併用を検討している。

1-1-1-1) 意見交換

奥原：緊急事態宣言が解除されても対面で開催するのはどうか。オンラインでの開催を検討してはどうか。

澤口：OT協会は審議が難しいとの判断から対面で総会を開催するとのこと。今回は臨時理事会で三役の互選もあるが、初対面の人もいるのでオンライン投票には抵抗を感じる。臨時理事会だけは会議室を借りてはどうか。

佐藤良：職場の指示で参加が難しいこともあるのではないかと。

神田：オンライン投票にする場合、システムの関係から今のような2名氏名を記述する方法では公平性が担保できないので1名を選び、上位2名を副会長とするように内規を変更する必要がある。

奥原：最低投票数（有効投票数）は決めておいた方がよいのでは。

澤口：どういう人に会長になってほしいかなどを論議してもよいのでは。

⇒総会はオンライン開催とし、臨時理事会は対面・オンライン両方での開催を見込み、内規について再提案する。また、臨時理事会を開催し、三役にはどのような人になってほしいか等意見交換を行うこととなる。

1-2) 役員選挙について

不足している理事について、佐藤隼氏（さがみりハビリテーション病院）の推薦があった。⇒承認

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) OT協会

3-1-1) 都道府県士会情報の更新について

協会から事務局の所属等に関する情報更新の依頼があり、当会が理事選挙の年であるため、総会後の再連絡することを連絡した。

3-1-2) 2021年度臨床実習指導者講習会の開催計画について

協会よりアンケートがあり、奥原理事へ依頼した。

3-1-3) 「復興のあゆみ」の活用について

これまでの災害支援活動に関する取り組みをまとめ、会員・一般国民および海外に向けて作成した「復興のあゆみ」の活用依頼があった。

3-1-4) 2021年度47都道府県委員会について

委員会日程が次のように決定したと連絡があった。

6月12日(土)、9月4日(土)、12月11日(土)、3月12日(土)

*6月、9月はオンライン開催の予定。12月、3月は状況が許せば集合開催を考えているが、開催日2か月前には判断するとのこと。

3-2) 行政

3-2-1) 4月1日以降の協力のお願いについて

緊急事態宣言解除後、3月31日までの間、段階的緩和期間として、21時までの営業時間の短縮要請をしているが、4月21日までを「リバウンド防止期間」として、改めて現行の措置を継続することとなったことへの周知依頼。

3-3) 関係団体

3-3-1) 第40回神奈川県病院学会について

神奈川県総合医療会館大講堂での実地開催(130名程度)とリアルタイム配信(特別講演、シンポジウム)を組み合わせる予定。また、一派演題をオンラインで開催予定(7月13日~23日配信)。学会テーマは「with/after コロナ時代の地域医療」。当会役割としてシンポジストの依頼の可能性あり。

3-3-2) 養成校への祝電について

卒業式にあわせ対応済。入学式を行わないところもあるが4月1日には届くよう発送済。

3-3-3) 日本医療マネジメント学会

事業終了のお礼状が届いた。

3-4) その他

3-4-1) ニュースの遅延について

学術誌の印刷が予定より遅くなったため(入稿が遅くなった)発送日を3/31(水)に変更することとなった。ウェブサイトでの報告済み。

3-4-2) ニュースに封入する外部チラシの振り込みについて

これまで外部団体から広報部口座へ振り込みをしていたが、各部門に収入は作らない方がよいとの事務局経理からのアドバイスもあり、今回のニュースから振込先は事務局口座になった。広報部等は相談済。

3-4-3) 学術誌の広告ページについて

2020年度版と同じ外部団体から協力があり、請求書を発送した。

3-4-4) 会員の資格喪失者について

前回の理事会で2015年度、2016年度から連絡がとれていない4名が対象と報

告したが、連絡がとれなくなった日から 3 年の経過とのことを規約委員会と再確認し 2017 年度から連絡がとれていない 2 名が追加となった。そのため 2020 年度末で 6 名が会員の資格喪失となる。

3-4-4) 学生さんの見学対応について

3 月 9 日に玖島理事に協力を得て、Zoom を使ったオンライン見学会を開催してもらった。

3-4-5) 一般の方からの問い合わせについて

高次機能障害について詳しい作業療法士を教えてほしいという問い合わせがあった。野々垣副会長とも相談の上、県士会として個別に対応することは難しいと判断し、「詳しい作業療法士を把握していないためご紹介できない」と対応した。

(3) 財務部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-2-1) 2020 年度 期末監査

4 月 18 日(日)実施予定

各部年度末の会計処理を適正に行い、円滑な監査の実施に協力してほしいと依頼があった。

(4) 学術部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項

2-1) イベント参加 Web 受付システム・オンライン決済の導入案について

オンライン研修会が多くなり、選択肢が増えている。オンライン研修会はオンライン決済がほとんどで、振込対応のみだと選択肢にあがらない懸念がある。また、参加申し込みフォーム、参加状況、決算などの一括管理機能が揃っており、部員の負担の軽減に繋がり、企画内容の検討やサービスの向上に注力できることなどから初期登録料、月額無料で当会の規模や運用に適応している最安値 2 社と月額費用がかかる 1 社を紹介する。

2-1-1) 意見交換

澤口：公益の視点では無料でのイベントも開催できればと思うので幅広く対応している業者を選べればよい。

金山：現在使用しているエクスフォームは 1 カ月 ¥5,500 の 1 年契約であり、8 月 31 日までとなっている。契約先を変更しても予算的に計上しているの

で 2021 年度からの利用でも対応が可能と考える。

吉本：財務的には研修会の半分は学部なのでそれほど予算を圧迫しないと考えるが、1 年間パイロットとして学部で行い、精査してもらってはどうか。

奥原：県士会員の確認はどのように行うのか。研修会の参加者を増やすことも大事だが、あくまでも会員の参加を前提に考えた方がよい。また、広報をどのように行うかも大事。

遠藤：会員が高く振り込んだり、非会員が不足したりと会計が煩雑になることもある。また、導入した際には説明会を行ってほしい。

神保：ニュースのアンケートを行っているが回答数は 12 名である。広報部としては広報ツールが増えることはありがたい。

⇒学部でパイロット導入を検討する。

2-2) 研究助成事業の概要の一部変更について

換金性のある物品（パソコン、タブレット、カメラ等）について、現在まで研究に必要であると合議会議にて承認された場合は代表者の所有となっていた。この点について、これらの物品が承認された場合は①研究助成班で物品を管理する②研究終了後には速やかに県士会に返納する（原則 3 年）こととしたい。具体的には消耗備品費の項目を「耐用年数 1 年以上のもので、取得価格が 3 万円以上のもの。ただし、換金性の高い物品（パソコン、タブレット型コンピュータ、デジタルビデオカメラ、ビデオ、録画機器、金券類）は、研究費で購入したことを明示（シール貼付）し、物品がわかるよう記録・管理する。研究終了後は県士会本部へ返納する（原則 3 年で返納すること）。」と変更したい。

2-2-1) 意見交換

吉本：金券とはなにを指すのか。

西川：クレジット精算ができない場合にアプリを購入するためのプリペイドカードではないか。

戸塚：職場でもアプリを入れるためにプリペイドカードを購入した。

吉本：用途を勝手に変更した場合返金となっているがどのように確認するのか。

⇒今回は管理をするということなので提案通りで承認。ただし、今後も検討した方がよい内容も多いので継続して審議していく。

2-1-3) 2019 年度研究助成受給者の助成変更使用について

コロナ禍において研究協力先の施設に行くための交通費がほとんど使用されていない現状（データ取得は協力施設に丁寧に指導することで可能であった）。そこで使用できなかった助成費を学会発表やその他の用途に使用できないか問い合わせがあった。変更理由願を参考に助成金の使用変更について検討する。

2-1-3-1) 意見交換

奥原：助成班はどのような判断しているのか。

佐々木：助成班はいいのではないかという判断。

遠藤：助成班のコメントがあると判断しやすい。

神田：内規など規定があると判断しやすい。

⇒情報の追加後、内容を確認し理事 ML で審議する。

3) 報告事項

3-1) 動機付け面接を学ぼう

日時：3月7日(日) 13:30~15:30 (120分)

講師：澤山透氏(相模が丘病院)

参加予定人数：79名

3-2) 仲間や組織で実践する作業療法～誰もが知りたいリーダーシップと組織マネジメント論～2020年度延長分

日時：4月25日(日) 10:00~11:30 (90分)

講師：福留大輔氏(横浜旭中央総合病院)

参加予定人数：30名

3-3) 新人でもわかる脳卒中患者の作業療法の実践

日時：6月13日(日) 10:00~12:10

10:00~11:30 学術部研修会, 11:30~12:10 福利部新人オリエンテーション

講師：渡部喬之氏(昭和大学横浜市北部病院)

参加予定人数：100名

3-4) 学術誌刊行班より

神奈川作業療法研究の vol.11 を4月号ニュースに同封予定で進行中。納品が遅れ、ニュースの発送が遅くなったが、24日納品予定で進められている。

神奈川作業療法研究 vol.1~vol.10 までの合本を今年度に作成予定。在庫になっている過去のバックナンバーを廃棄する予定。

(5) 教育部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 研修会報告

3-1-1) 現職者共通研修

2月7日(4テーマ) 120名参加

2月11日(2テーマ：昨年度分事例報告、事例検討) 81名参加

2月23日(4テーマ) 130名参加

2月28日(2テーマ：事例報告、事例検討) 72名参加

3-2-2) 臨床実習指導者講習会

2月20-21日 78名参加

3月13-14日 74名参加

(6) 広報部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) ニュース班

3-1-1) ニュース発行について

2月号サイトで公開された。4月号(郵送号)準備中。

3-1-2) 会員向けアンケートについて

回答数が少なかつたため4/23までウェブサイトで内容の希望に関するアンケートを延長する。

3-2) 対外広報班

3-2-1) 活動中止報告

2月リハビリテーションケアフォーラム 中止連絡あり

2月介護支援専門員研究大会 ホームページにて開催中止確認

4月3,4日相模原市民さくらまつり 中止の確認済

3-2-2) 活動予定(次年度)

7月ヨコハマヒューマンテクノランド 5月ごろに開催可否の確認予定

3-2-3) 対外広報班会での審議事項

3-2-3-1) 活動媒体の検討

今年度のすべての活動が非実施の状況であったため、今後の新たな活動媒体について検討した。2021年度上半期はSNS発信の準備として、写真やテーマ・記事を準備していく。

3-2-3-2) 対外活動対象の検討

これまでの作業療法を知ってほしい県民のみではなく、「県士会活動を知ってほしい非会員・作業療法学生」も加えて広報活動を行っていく。2021年度上半期は学生や教員県士会活動についての意識を情報収集し、広報手段の検討に落とし込む。

3-2-3-3) 班員・係りの変更

会計を担当している中島氏の退部に伴い、原氏が会計担当となる。

(7) 福利部

1) 重点課題 なし

- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項
 - 3-1) 求人関連(2/5~3/20)
 - 3-1-1) 新規掲載依頼：17件
 - 3-1-2) 変更依頼：5件
 - 3-1-3) 削除依頼：1件
 - 3-1-4) 有料掲載依頼：4件
 - 3-2) 新規入会案内
 - 3月26日発送予定の県士会ニュースに新規入会案内を同封。県士会に入会していない方へのアナウンスに利用してもらう。
 - 3-3) 2021年度 新入会員オリエンテーション&歓迎会
 - 2021年6月13日(日) 場所：オンライン開催

(8) 地域リハビリテーション部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項
 - 3-1) 地域リハ部事業状況
 - 3-1-1) 地域リハビリテーション人材研修会
 - WEB開催：3月6日13:30~17:00。
 - 3-1-2) 発達研修
 - WEB開催。3月7日10:30-15:00。
 - 3-2) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告
 - 今年度の訪問リハ実務者研修会中止
 - 3-3) その他
 - 3-3-1) OT協会地域包括ケア委員会のWeb研修会
 - 関東ブロック会議4~5月に開催予定。
 - 3-3-2) 県建築士会から
 - 「専門職連携 住宅改修のワークショップ」を2月13日土曜日開催
 - オンライン研修会で遠藤理事が対応済み。
 - 3-3-3) 神奈川県から依頼
 - リハビリテーション専門職等の窓口一覧の照会について依頼あり、3月23日まで返答依頼。
 - 3-4) 県からの「通いの場」へ専門職派遣事業の進捗状況
 - 謝金の支払いがほぼ終わり、報告書作成を行っている。3月22日事業終了予定。

⇒業務完了後、県から事業費が入る予定。

(9) 制度対策部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項 なし

(10) 規約委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項
- 2-1) 委員の退任について

他県への転身に伴い当会を退会する予定となっているため、以下の委員の審議がされた。任期途中での委員の退会には理事会審議が必要。

花宮徳介氏 ⇒承認

3) 報告事項

3-1) マニュアルの整備に関して

規約委員会では一昨年よりマニュアルの有無について調査している。現時点で回答のあった部・委員会の情報共有を実施。また、今後の展望についても議論を開始した。

※回答のあった部・委員会：財務部、学会評議委員会、福利部、ウェブサイト管理委員会、地域リハビリテーション部、認知症対策委員会、規約委員会、エリア化推進委員会

3-2) 社員総会の開催様式、開催回数について

事務局と連携しつつ、どのような方法で開催するかを検討中。開催場所を確保し、双方向性・即時性が担保できればハイブリッド出席型バーチャル総会として、実際に現地にくる参加者を減らして開催することが可能との結論にいたっている。

開催回数に関しては予算収支をどのような扱いにするのかによって結論が変わってくるため全体での議論が必要。

3-3) 三役選挙について

安全性が担保されたシステムが導入できるのであれば、規程を変更すればオンライン投票は可能となる。方向性が定まれば規程の作成に取りかかる方針となっている。

(11) ウェブサイト管理委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項

3-1) 新コンテンツ「絵本でみる作業療法」順次更新中。

3-2) 運営会議および年度振り返り

3月10日 ZOOM オンラインミーティング実施予定。

(1 2) 学会評議委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項
 - 3-1) 臨床大会について
4月の理事会で審議する。
 - 3-2) 第18回神奈川県作業療法学会
四役会 3月4日 実施済み

(1 3) 公益法人化対策委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項 なし

(1 4) 生活行為向上マネジメント推進委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項 なし
 - 3-1) 質疑応答
佐々木：学術部主催の研修会で会員からの MTDLP の研修会について質問されることがある。どのようになっているのか。
木村：神奈川県内の MTDLP 指導者が 2 名しかいないことやコロナ禍でのグループワークが困難な状況。

(1 5) 認知症対策委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項
 - 3-1) 制度対策部福祉用具班との合同研修会（オンライン）開催
2月27日（土）23名受講・キャンセル2名・スタッフ6名

(1 6) 地域包括ケアシステム推進委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 県士会からの依頼文の流れについて(決定)

ア)横浜市依頼文(年度初め1回)と県士会からの依頼文を派遣される県士会員へ送付。

イ) 県士会への派遣依頼内容の共有には「派遣相談依頼シート」を西川理事から県士会事務局へメールする。

以上の流れで進めていくこととなった(横浜市にも通達済)。

3-2) 支援事業実績

今年度はコロナの影響が強く、年間 20 件弱(4 月以降確定)の見込み。来年度前半もコロナの影響が残ると予想される。4、5 月依頼は少しずつ入ってきており、部員、派遣者へ連絡している。

3-3) 地域リハ部地域支援事業ミーティング

2021 年 3 月 17 日、遠藤理事、札幌部員、西川理事

内容：神奈川県での支援事業、横浜市での支援事業すり合わせ、情報共有

3-4) 地域包括ケア推進委員会ミーティング@オンライン

2021 年 3 月 22 日、部員 6 名

内容：今年度の振り返り、来年度にむけて

(17) エリア化推進委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項 なし

(18) その他

1) 委員推薦依頼について

令和 2 年度に国が策定した「循環器病対策推進基本計画」にのっとり、神奈川県でも計画策定をすることとなりリハビリテーション専門職の代表として三団体協議会に委員推薦の依頼を行うことになった。

1-1) 質疑応答

神保：この会の目的は何か。

木村：一から計画を作っていくというよりは、神奈川県が提示する計画案について専門職の立場から意見をいうこと。

⇒委員に推薦できる人がいれば木村副会長に連絡する。

2) 役員選挙について

佐藤良理事より今回の役員選挙について選挙管理委員長より理事にならないかという連絡がきた。公平性を保つはずの選挙管理委員長からこのような申し出があることは

問題であり、なぜこのようになったのか監事にヒヤリングを依頼したい。

⇒田中監事が三役、池田選挙管理委員長、佐藤良理事にヒヤリングを実施することとなった。

(19) 監事より

なかなか対話ができず、それぞれが対応してきた1年だった。今後は協力して取り組みにはどうしたらよいか考えていってほしい。

(20) 渉外報告

1) 神奈川県介護人材確保対策推進会議学び続けられる環境整備部会

2021年3月10日(水) 10:00~11:20 オンライン開催

出席: 金山事務局長

6次回予定

(1) 三役会 4月5日(月) 18:30~

(2) 理事会 4月22日(木) 19:00~

以上、文責 金山

議事録署名人	議長:	錠内 広之	印
	理事:	遠藤 陵晃	印
	監事:	田中 ゆかり	印